

# 第1学年 学年だより 第3号

2017年5月30日

横浜市立旭中学校  
第1学年職員一同  
発行 谷内田洋子

## PAAを終えて

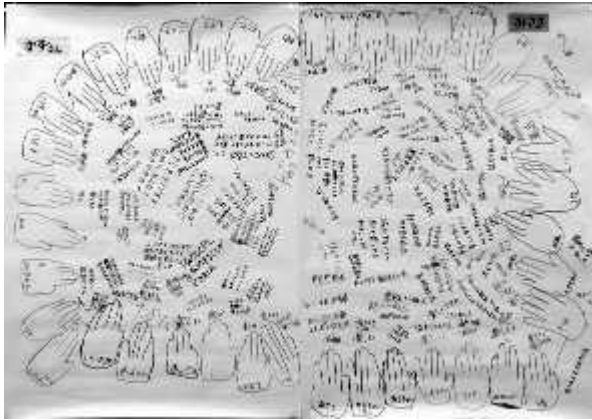
5月24日(水)に1年生初の校外学習で足柄へ行きました。各クラスA、Bの2班に分かれ、ファシリテーター(支援員)の方の指示で様々な冒険プログラムに取り組みました。中にはかなり難しい課題もあったのですが、成功するにはどうしたらよいかみんなで知恵を出し合い、いろいろな方法を試みながら、課題解決のために班で協力する姿をたくさん見ることができました。

声を出して率先してリードする人、指示を聞くとときに「静かに!」と声をかける人、指示をしっかりと守って行動する人、仲間のために熱心にサポートする人…そんな一人ひとりの取組が結集して、達成感につながっていったようです。

最後にファシリテーターの方から、頑張った自分に拍手をすること、同じものでも視点を変えると別の見方、考え方ができること、そして、クラス作りはこれがスタートであるから今後さらによりよいクラスにしていって欲しいなどのお話をいただきました。「**自ら考え、課題を解決しようとする力**」を伸ばし、「**仲間と協力しながら活動することで、自分と相手を大切に作る心**」を育てるというPAAの目的を達成するために頑張れた仲間と共に、今回の経験をこれからの学校生活の様々な場面で引き続き生かしていきましょう。

## 生徒感想より

- 一番思い出に残っているのは友達・仲間と協力して課題に取り組んだこと。失敗してしまったことがあったけれど、最後は成功することができて、とてもうれしく、楽しかった。
- 仲間に「大丈夫!」「頑張って!」「もう一歩!」などと言われてうれしかった。
- ターザンロープで、男女関係なく支え合って活動できた。
- ビー玉転がしで、みんなと協力してあきらめなかったことが思い出に残りました。何回も失敗して、だんだんやる気が落ちていったけど、あきらめずクリアできました。
- シーソーで、みんなで案を出し合ったりして協力できたので一番思い出に残っている。
- 島渡りで一枚の板にたくさんの人が乗る活動で、「もうちょっと詰めて」などの呼びかけができていた。満員電車のようなと思った。最初はあまり団結できていなかったけど、活動していくうちにつれ団結していけたので楽しくできた。
- みんなで取り組んでクリアできたら、みんなで喜び合って達成感が生まれ、またみんなで頑張ろうという気持ちになった。
- 自分の意見を他の人に伝えること、話し合いなどで意見を出すことを学んだ。
- 思いやりをもつことをこれからも続けたい。
- みんなと協力しながらやれば、難しいこともできることが分かった。学校生活でも一人ではできなくても協力すればできることもあると思うので、みんなで協力しながら活動しようと思う。
- みんなで協力し合って意見を出し合えば、どんなに難しいことにも成功する!⇒難しいことがあったとき、PAAでの「協力」を思い出す!
- ファシリテーターが言っていた「失敗は何回でもしていい。だけど失敗をそのままにするな」という言葉にすごく心がゆれました。これからもこの言葉を大切にしたい行動していきたいです。
- ちがう人の意見や考えにも耳を傾けることが大切。特定の人だけでなく、周りの色々なひとに意見をきくのが大切だなと思った。これは、今後の体育祭、合唱コンにおいても大切だと思う。
- 一人ではできないようなことも、みんながいれば成し遂げられるということを学んだ。これから先、誰か仲間が困っていたら、PAAで学んだことを生かし、協力し、助けてあげたり、団結して成し遂げたりしたいと思う。



Being 自分の手形をかたどり、活動で気づいたことを記入していきました。



ビー玉転がし



シーソー

## 1 学期テストに向けて

旭中学校では一年間で合計4回の定期テスト(1学期、2学期中間、2学期期末、学年末)があります。みなさんにとっては初めての定期テストとなる1学期テストが、今月の14日(水)~16日(金)の3日間で行われます。テスト範囲表が配付され、今後、各クラスでテスト当日に向けての学習計画を立てていく予定です。

「テストを頑張る!」という声をよく聞きます。頼もしい言葉ではあるのですが、なんとなく「頑張ろう」と思っている、なかなか点数には結びつかないものです。「頑張る」とは具体的にどのようなことなのでしょう?PAAでは課題解決のために何が原因でうまくいかないのかをみんなで考え、改善していけました。テスト勉強も同じで、まず自分自身の課題=何をどうしたらよいかをはっきりとさせるが必要です。

しかし、自分でどうしたらよいかわからず、心配している人もいるのでは?そんな人達は、まずは授業にしっかり集中して、内容を毎回確認して覚えていくことがテスト対策の基本となります。授業の持ち物はいつもそろっていますか?教科担任の先生の話に耳を傾けていますか?わからないことをそのままにしていませんか?忘れ物があって確認作業がうまく進まない。授業内容がわからなくなってきた→わからないから授業を聞いてもつまらなくなる→またわからないことが増えていく…という悪循環にならないために、個人の努力はもちろんですが、周りの力もぜひ使ってみましょう。自分だけで解決できることと、アドバイスをもらったことでわかるようになることがあると思います。困っていることがあれば、遠慮なく教科担任の先生、また話しやすい先生に声をかけてみてください。火曜日と木曜日には主に図書室で「自習・補習室」も行っています。利用してみてもいいかもしれません。

原因を考え、何事もあきらめずにくり返しチャレンジする。テスト勉強でも活用してください。

## 道徳「環境問題への新たな挑戦」を学習して ～主題：自然愛護～

今年度から「特別の教科」となった道徳です。先日の授業では、野口健さんのエベレストでの清掃活動を題材にした資料を通して学習しました。ワークシートの感想(つらい思いをしながらも清掃活動をあきらめなかったのはなぜか。また野口さんをどう思うか)をご紹介します。

- 日本のゴミが多くて悔しいからあきらめずに活動しているのではないか。野口さんのような人を自分はとてもかっこいいと思います。
  - 自分と同じ日本人が捨てたゴミをみて腹がたって清掃活動を始めたのもすごいと思う。野口さんは清掃しているうちに他国のゴミをきれいにしたいと思い始めたから、あきらめなかったのだと思う。
  - ごみを置いていく国の意識を高めるためにも、あきらめずに活動した。そのような野口さんを見て、こういう人のおかげできれいになったりするのとはとても良いことだと思った。ゴミがあったら自分もきちんと拾いたい。
  - 日本人に自分達がやっていることを分かって欲しかったから。自分の国のためにここまでできるなんてすごいと思った。
  - エベレストを通して自分の国のゴミへの意識を高めるためにした。いつもつらいのに頑張っている野口さんはとても素晴らしいと思った。そして日本人へのゴミへの意識を高めてくれて、ありがたいなと思った。
  - ラッセル達に言われたことがとても悔しくて、見返してやりたいと思ったからだと思う。野口さんはとても大変なのにすごいなと思った。
- 

保護者の皆様へ

日頃からのご支援、ご協力、ありがとうございます。

PAAでは、仲間と共に様々な課題に挑戦していく中で、一人ひとりが集団の一員として、さらに成長していく機会をもつことができました。これも、当日早朝からの昼食の準備のご協力を始め、保護者の皆様の温かいサポートあってのことと、心より感謝申し上げます。

先日、学年集会を行いました。①身体が大きくなり、ふざけっこが大きな事故につながらないための休み時間等の過ごし方 ②体育で頑張っているだけに怪我の予防 ③アメの包み紙が落ちていたことを受けて、何かあったときには事実を正直に伝えることの大切さ この3つの内容を集会で考えてもらったのですが、顔を上げて熱心に話を聴き、次の日から早速廊下を走らず競歩で移動している生徒達、また、「こんなことがあった」「この可能性がある」と話に来てくれた生徒達の行動を大変嬉しく思いました。この学年の良さである「元気なところ」「やさしいところ」を出し続けながら、様々な経験の中で成長していく子ども達を、これからも大切に見守っていきたいと思います。

来月は、7/6(木)～7/11(火)の4日間の予定で三者面談があります。後日、担任より詳しいお知らせをお渡ししますので、ご多用とは存じますが、どうぞよろしく願いいたします。また、教科相談(教科担任との面談で希望制です。こちらはお子さまだけでも、保護者の方と一緒に、ご希望に合わせてできます)もございます。ぜひご利用ください。